



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月14日

上場会社名 ネオス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3627 URL <http://www.neoscorp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員経営管理部長 (氏名) 中野 隆司 TEL (03)5209-1590

四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日

配当支払開始
予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	1,318	△14.1	15	—	20	—	30	—
27年2月期第1四半期	1,534	△27.7	△21	—	△21	—	△13	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 32百万円 (—%) 27年2月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	3.60	3.56
27年2月期第1四半期	△1.56	—

平成27年2月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	4,262	2,709	63.0	314.68
27年2月期	4,102	2,683	64.8	312.00

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 2,687百万円 27年2月期 2,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	1.50	1.50
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	108.7	150	—	150	—	100	—	11.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

現在、携帯電話業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点をおいた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社グループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期1Q	8,540,700株	27年2月期	8,526,300株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	一株	27年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期1Q	8,537,100株	27年2月期1Q	8,319,770株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業績等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自平成27年3月1日 至平成27年5月31日）における日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、個人消費の持ち直しの兆しもあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。ただ、ギリシャの債務問題や中国の景気減速懸念、為替レートの急激な変動等、依然グローバルなリスク要因を抱えた状況にあります。

携帯電話市場においては、スマートフォンの利用率が20代の94.1%をトップに、全年代平均利用率が6割を超え（総務省：平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査）、あらまし浸透した様相にあります。こういった状況の中で、通信キャリアにおいては、端末差別化によるユーザー獲得という競争構造が、ECや決済サービスなどの独自サービスによる差別化とビジネス創出へとシフトしつつあります。また、コンテンツ市場においては、グローバルレベルでのB2Cアプリの乱立とGoogle及びAppleのアプリストアにおける競争激化が常態化しており、コンシューマーサービスにおいては、必要とされる投資規模とビジネスリスクが増大している状況にあります。

こういった事業環境を踏まえ、当社グループにおいては昨年度より大きく事業戦略を転換し新たな事業展開に努めております。ソリューション事業においては、通信キャリアの端末差別化のためのプロダクト開発需要の低迷を補うべく、サービスプロバイダーや法人企業等、新たな顧客及び案件の拡大に取り組んでいます。プロダクト&サービス事業においては、コンシューマーサービスの競争激化とビジネスリスク増大に対応して、ターゲットが明確で付加価値が高いキッズ向けの教育ジャンルに注力するとともに、ビジネスコミュニケーションサービス【SMARTアドレス帳】やO2Oサービス【neoPass】等の法人をターゲットにしたクラウドサービス事業の立ち上げを積極的に展開しております。

これらの結果、当第1四半期の連結決算は、売上高1,318,438千円（前年同四半期比14.1%減）、営業利益15,986千円（前年同四半期は営業損失21,998千円）、経常利益20,041千円（前年同四半期は経常損失21,967千円）、純利益30,716千円（前年同四半期は純損失13,009千円）となりました。売上高については、まだ前年同期のレベルに達していませんが、損益については、総利益率の向上等により前四半期に続き黒字決算となっております。

また、これら既定の事業戦略転換による業績向上努力に加え、新たな事業の展開を加速すべく、資本投資を伴う業務提携を推進しています。昨年12月の株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントとの合弁会社設立による動画サービス分野での協業に加え、本年に入ってから、5月にSIMフリー時代やIoTの進展を睨んで“エッジデバイス”開発・製造の株式会社ジェネシスホールディングスとの提携、さらに6月には、プリペイド型電子マネー大手の株式会社バリューデザインへの出資及び業務提携を行っており、スマートフォンから始まった新しい時代のうねりに対応した新事業の立ち上げに、今後も積極的に取り組んでまいります。

事業別の詳細については以下の通りです。

<ソリューション事業>

当第1四半期におけるソリューション事業の連結売上高は、902,331千円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

ソリューション事業においては、前年同期は大型の端末開発案件があり、今期の売上高は、まだ前年同期の水準には達していませんが、これを補完しさらに伸長すべく、サービスプロバイダーや法人企業等新たな顧客及び新規案件の開拓、拡大を積極的に展開しております。この結果、当期においても、前四半期に続き、安定的に事業が推移しました。今期リリースした法人向け案件の例として、全日本空輸株式会社（ANA）国際線航空券予約システムの開発が挙げられます。本開発において当社は、UI設計からデザイン、コーディング、フロントエンド実装までを担当し、複雑な航空券予約システムにおいて、直観的で使いやすい操作性の実現をサポートしております。

<プロダクト&サービス事業>

当第1四半期におけるプロダクト&サービス事業の連結売上高は、416,107千円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

プロダクト&サービス事業においては、キャリア独自端末の縮小に伴い端末向けソフトウェアライセンス事業が減少しており、これを補い事業の拡大を図るために、サービス事業の強化を図っております。具体的には、法人向けサービス事業に注力するとともに、教育コンテンツ等のターゲットが明確で付加価値が高いコンテンツビジネスの育成を推し進めています。

法人向けサービスにおいては、膨大な社内外のアドレスデータをクラウドで一元管理できる【SMARTアドレス帳】において、新たにMVNO事業者を対象にしたアドレスデータ移行サポートを可能にする【SMARTアドレス帳PLUS】を開発、6月より提供を開始しました。また、教育系ではNTTドコモが提供している子育て家族向けの知育サービス『dキッズ』向けに、旺文社の英検対策用の英単語熟語を収録した、ロールプレイング型学習アプリ【ドラゴンブレイン® for dキッズ】の提供を開始する等、引き続き積極的にラインアップの拡大を図っております。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,099,563千円となり、前連結会計年度末に比べ120,455千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が80,943千円増加したことによるものです。固定資産につきましては、有形固定資産が5,794千円、投資その他の資産が5,395千円減少したものの、無形固定資産が50,901千円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ39,712千円増加し、1,163,388千円となりました。

この結果、総資産は4,262,951千円（前連結会計年度末は4,102,784千円）となり、前連結会計年度末に比べ160,167千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,553,907千円（前連結会計年度末は1,418,832千円）となり、前連結会計年度末に比べ135,075千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が188,751千円減少したものの、長期借入金が262,500千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,709,043千円（前連結会計年度末は2,683,952千円）となり、前連結会計年度末に比べ25,091千円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月14日の「平成27年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,769,884	1,850,827
受取手形及び売掛金	1,040,143	873,094
仕掛品	29,221	43,068
その他	151,177	342,061
貸倒引当金	△11,318	△9,489
流動資産合計	2,979,108	3,099,563
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,800	90,510
器具備品	59,157	55,653
建設仮勘定	1,199	1,199
有形固定資産合計	153,157	147,363
無形固定資産		
ソフトウェア	251,231	291,671
ソフトウェア仮勘定	171,080	192,219
のれん	41,847	31,626
その他	11,416	10,958
無形固定資産合計	475,575	526,476
投資その他の資産		
投資有価証券	190,243	189,642
関係会社出資金	71,417	70,329
繰延税金資産	1,061	747
差入保証金	211,184	206,269
その他	49,943	50,865
貸倒引当金	△28,906	△28,306
投資その他の資産合計	494,943	489,548
固定資産合計	1,123,676	1,163,388
資産合計	4,102,784	4,262,951
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,958	235,531
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	2,961	5,368
繰延税金負債	2,611	3,372
賞与引当金	249,302	60,551
ポイント引当金	993	760
その他	233,231	324,042
流動負債合計	906,058	779,626
固定負債		
長期借入金	450,000	712,500
繰延税金負債	15,116	12,854
資産除去債務	44,594	44,769
その他	3,063	4,157
固定負債合計	512,774	774,281
負債合計	1,418,832	1,553,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,293,874	1,297,819
資本剰余金	1,283,874	1,287,819
利益剰余金	64,874	82,801
株主資本合計	2,642,622	2,668,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,798	11,832

繰延ヘッジ損益	—	1,375
為替換算調整勘定	4,798	5,906
その他の包括利益累計額合計	17,597	19,114
新株予約権	23,568	21,488
少数株主持分	164	—
純資産合計	2,683,952	2,709,043
負債純資産合計	4,102,784	4,262,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,534,298	1,318,438
売上原価	1,075,680	904,072
売上総利益	458,618	414,365
販売費及び一般管理費	480,616	398,379
営業利益又は営業損失(△)	△21,998	15,986
営業外収益		
為替差益	—	4,331
その他	403	1,795
営業外収益合計	403	6,127
営業外費用		
支払利息	—	1,023
持分法による投資損失	—	1,003
その他	372	46
営業外費用合計	372	2,072
経常利益又は経常損失(△)	△21,967	20,041
特別利益		
関係会社株式売却益	—	7,315
新株予約権戻入益	14,201	4,956
特別利益合計	14,201	12,272
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,766	32,313
法人税、住民税及び事業税	1,452	2,622
法人税等調整額	5,016	△922
法人税等合計	6,468	1,699
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,235	30,613
少数株主損失(△)	△1,225	△103
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,009	30,716

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△14,235	30,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,425	△966
繰延ヘッジ損益	—	1,375
為替換算調整勘定	—	1,107
その他の包括利益合計	1,425	1,516
四半期包括利益	△12,810	32,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,584	32,233
少数株主に係る四半期包括利益	△1,225	△103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。